

2024 年 2 月期第 3 四半期決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、決算説明会にご出席の皆様から頂いた主なご質問をまとめたものです。
なお、理解促進のために一部内容の加筆・修正を行っております。

●全体について

Q1. 当第 4 四半期以降から来期の見通しをお聞かせください。特にメディア（求人広告）サービスにて、コロナ特需の剥落と飲食領域の回復速度が当初想定よりも緩やかである状況を補う領域を教えてください。

A1. 当第 4 四半期以降から来期は、景気に影響を受け難い医療介護の領域と「2024 年問題」が取り上げられている物流領域に重点を置き、顧客開拓を進めていきます。

コロナ特需が剥落した派遣・BPO 領域は、今期及び来期の上半期は前年比では伸び悩むと想定しているものの、来期の下半期以降に戻ってくると見込んでいます。また、飲食領域は想定よりも緩やかでありつつも回復しており、まだまだシェアをとれると考えています。

Q2. 大谷選手を企業広告に起用した効果、業績面への利益やインパクトをどのように想定されていますか。

A2. 大谷選手のブランドアンバサダーご就任により、すでにポジティブな効果が出ています。具体的には、大谷選手と弊社代表取締役社長 CEO の富田との対談動画や大谷選手出演の TVCM を多くのメディアに取り上げて頂いた結果、当社の試算では 12 億円を超える広告換算効果が出ています。これは当社が、過去実施したプロモーションと比べても抜きんでて高い効果が出ています。

今後も、大谷選手を起用した企業広告は、非常に高い効果が期待できると考えていますが、具体的な売上・利益やインパクトに係る数字は差し控えさせて頂けましたら幸いです。

●人材サービス事業（メディアサービス）について

Q3. 当期 4 月入社の新卒社員の売上貢献の見通しに対するご評価を教えてください。また、26 年 2 月期は「100 億円の売上貢献」とのことですが、来期（25 年 2 月期）はいかがでしょうか。

A3. 当期4月の新卒社員の売上貢献見通しは、例年に比べて現状7割台程度の仕上がりと考えています。また、これを踏まえて、26年2月期は「100億円の売上に貢献」と想定しております。来期は、例年の新卒社員の成長状況を踏まえますと、約50億円程度の売上貢献ほどの水準となることを見込んでいます。

Q4. 来期もメディアサービスは市況の影響を受け、弱含む可能性が高いのでしょうか。

A4. 来期、市況は緩やかに回復していくと見込んでいます。また、市況の良し悪しに関わらず、当社が市場シェアを獲得できるよう、様々な戦略を練り、実行していきます。

以上